

竹の子会の基本目標

1. 人間形成への修練
1. 地域社会への奉仕
1. 会員相互の親睦



竹の子会会報

No.569

竹の子会総務委員会

平成27年6月11日

オープン例会

日時：平成27年5月22日(金)

場所：大垣市情報工房



教養委員会
委員長
金山 幸生

会員の皆様こんにちは。第59期教養委員会委員長の金山 幸生です。

去る、5月22日(金)に、元ボクシング世界チャンピオンの竹原 慎二氏をお招きし、「奇跡を起こす人になれ」と題して、オープン例会を大垣市情報工房5階 スィンクホールにて行いました。

今回のオープン例会にて人生で初めて、司会進行役を務めさせていただいた訳ですが、正直に申し上げますと…、凄くビビってました。開始前、同期の会員から、顔が引きつっていると言われたり、プレッシャーからか、開始直後は手が震えて、司会台本がパタパタしていたり…。

また、今回竹原さんからの要望もあり、自分も進行役として一緒に壇上に上がらせていただいた訳

で、何回も委員会や自分で練習は行って来たのですが、当日、本番を迎えても、しっかり出来るか不安でした。当日の結果は、皆様色々な意見はあるかとは思いますが、無事に終える事が出来ました。

今回もつくづく感じた事は、本当に会長、副会長や委員会メンバーをはじめ、全会員に助けていただけたからこそ、今回のオープン例会を行えたという事です。自分が不甲斐ないばかりに数々の迷惑や不安をかけたと思います。それでも支えてくれた副会長、委員会メンバーには本当に感謝の言葉しかありません。

そして、当日スタッフとしてお手伝いいただいた皆様、そしてオープン例会に参加していただいたOBの皆様、ありがとうございます。今回の事業をきっかけに少しでも大垣竹の子会を一般の方々に広く知っていただき、60周年へ、そして、その先へ繋がってくれればと思います。本当にありがとうございました。



教養委員会
副委員長
高木 明弘

会員の皆様こんにちは。56期入会の高木 明弘です。今期は教養委員会の副委員長を務めさせていただいております。

今回の5月度例会は、元ボクシング世界ミドル級王者の竹原 慎二氏を講師として迎え、「奇跡を起こす人になれ」と題した講演会を開催しました。また、オープン例会として、広く一般のお客様にも参加していただける例会として実施しました。

オープン例会ということで、準備を進める中では、講演会のテーマや講師選定の段階が一番悩ましかった印象です。広く皆さんが興味を持つようなテーマや講師は何か、また、それ次第でその先の準備が変わってくる点でも重要なところだったので、委員会でも皆頭を悩ませたところだと思います。

もうひとつ思い出深い点は、やはり、通常の講師一人による講演形式ではなく、竹原氏と金山委員長によるトーク方式の講演会であったことです。

最初に委員長から方針を聞いた時は、どうなることかと思いましたが、シナリオを作っていく作業で金山委員長の慣れた感じのリハを聞き、これは意外に面白いなと思うと同時に、委員長は度胸がすわっていると感心させられました。当日も、さすがに直前には顔がこわばっていましたが、本番が始まると笑いありで盛り上げながら講演の流れをうまく作り、来ていただいたお客様に楽しんでいただけたのではないかと思います。

来客者数という点では、力不足な点がありました。オープン例会という竹の子会の活動を多くの皆さんにPRする機会でしたので、チラシやポスター配布だけではなく、具体的な集客活動にもう少し力を入れる必要があったと、集客の難しさを実感しております。

しかしながら、今回、委員会以外でも多くの皆さんにご協力いただき、何とか無事に事業を終える事ができました。ありがとうございました。

今期も残すところあと1か月余りとなりましたが、今回の経験を糧にして、今後も会の活動を頑張っていきたいと思っております。



第15回 海外児童文化交流派遣事業

日時：平成27年5月15日(金)～5月17日(日) 場所：韓国・昌原市



国際交流委員会
委員長
澤田 義昭

第59期国際交流委員長の澤田義昭です。

5月15日(金)～5月17日(日)にかけて、第15回海外児童文化交流派遣事業が行われました。

昨年の受入事業でホームステイの受け入れを行った児童8名と、先生1名、竹の子会員8名の合計17名で、韓国・昌原市へ訪問してまいりました。

まずもって、ご協力いただいた会員の皆様のおかげで無事に事業を終えることが出来たことを感謝します。

今回の事業を進めていくにあたっては、過去の資料を参考にしたり、経験豊富な先輩方のアドバイスいただきながら行ったので、特に大きな不安もなく、進めることが出来ました。

実際に準備が始まったのは年が明けた頃からです。まず行ったのは児童、保護者を集めてのオリエンテーション。そして2月から計4回、児童の皆さんに集まっていたいただき、韓国語講座及び出し物の練習を行いました。

対面式での自己紹介と特技の披露をしていたために、練習を重ねました。

児童が書いた自己紹介の作文を、講師の方に韓国語に訳してもらい、それを児童に読んでもらうのですが、何を話しているのかなかなか伝わらず、相手に理解してもらえないレベルまで持っていくのはかなり大変でした。発音など細かな表現を先生に教えてもらいながら調整しました。

対面式本番では、やはり緊張もあったせいか、あまり声が出ていなかったようでした。しかし、韓国

の方も一生懸命聞いていただき、ところどころで大きくなずいていました。多少は伝わったかな？と思います。児童の皆さんにとっては大変な緊張の中でやりきっていただいたので、貴重な経験となったのではないかと思います。

2日目には「古城恐竜エキスポ」、「昌原の家」、「昌原科学館」を観覧しました。児童同士交流を深めながら、たくさんの学びがあったのではないかと思います。

また、2日間のホームステイでは、初めは不安そうな子もいましたが、言葉が通じない中でもコミュニケーションを取りつつ、友情を築いていけたのではないかと思います。お別れの時に涙している子もおり、とてもいい交流が出来たのだなと思いました。

竹の子会員も昌原JC会員の家庭へ1泊ホームステイをしました。

韓国語講座をやったとはいえ、結局、言葉は全く出てきませんでした。しかし、片言の英語と相手の方の気遣いもあり、それなりにコミュニケーションも取れ、楽しい時間を過ごすことが出来ました。本当にたくさんのおもてなしをしていただきました。

彼らが日本に来たときは、私たちも精一杯おもてなしをしたいと思います。

今後も大垣竹の子会と昌原JCとの友好が続き、有意義な交流が出来るといいと思います。

最後に、この事業をもって第59期国際交流委員長としての仕事は終わりです。大垣竹の子会に入会して3年目、初めての委員長を務めさせていただきましたが、たくさんのことを学び、自身の成長になったと思います。また、素晴らしい仲間と出会えたことに改めて感謝します。ありがとうございました。





国際交流委員会
副委員長
原 一翔

皆様こんにちは、第59期 大垣竹の子会 国際交流委員会副委員長を務めさせていただいております、第58期入会の原 一翔です。

去る5月15日（金）、16日（土）、17日（日）の3日間にわたり、大垣市の姉妹都市である韓国は昌原市の青年会議所との親交を深めることを目的とした、「第15回海外児童文化交流派遣事業」が執り行われました。

今まで渡航経験が乏しかった私ですが、国際交流委員会の一員として、今回の派遣事業に帯同させていただきました。慣れない海外で児童を引率する

といった大変な事業ではありましたが、幸い天候にも恵まれ、児童たちは昌原市のホームステイ先での歓迎や観光に対し、とても笑顔で満足していたのではないかと思います。

また、私自身、拙い英語しか話せない身でありましたが、昌原JCの皆様到手厚くおもてなしをいただき、とても感動しました。特にホームステイ先である朴さんから、両手で持ちきれないほどのお土産までいただき、感謝しても足りないほどのです。

今回の海外児童文化交流派遣事業により、大垣竹の子会と昌原JCの絆はより一層深まったと思います。最後に今回の派遣事業に参加していただいたご家庭と歓迎していただいた昌原JCの皆様に、深く御礼申し上げます。ありがとうございました。



国際交流委員会
副委員長
伊藤 仁志

皆様こんにちは。54期入会の国際交流副委員長の伊藤 仁志です。

今回、第15回海外児童文化交流派遣事業に参加させていただき、大垣市の児童8名はもちろんの事、私自身も貴重な体験や交流と、実りある3日間を無事に終える事ができました。

各年の交流事業となり、昨年の受入事業から少し時間はありましたが、派遣当日に向けての子供達の韓国語講座の姿は、回を増すごとに真剣さも増し、緊張感の中にも期待で溢れておりました。

初めての海外旅行の児童にとっては、空港までは不安でいっぱい、表情も曇りがちだった子も、2

日目ともなればはしゃぎ回っていました。海外でのホームステイをする事だけでも貴重な経験ですが、恐竜博物館や昔の昌原の家などを観光し、楽しみながらも韓国の文化を見て、聞いて、感じる事ができたのではないかと思います。

また、昌原JCのジョン会長をはじめ会員の皆様にも、到着から見送りまで、細やかな点までおもてなしいたいただき、我々、竹の子会員までホームステイをさせていただいて、お互いに会員同士親睦を深められました。竹の子会員でない限り、この歳でなかなかホームステイは経験できません。

たった3日間ではありますが、児童にとっては一生の思い出に残る経験となったと思います。自分が小さい頃には存在していなかった事業でうらやましくも思います。改めて今回も参加させていただいて、竹の子会一の素晴らしい事業だと感じました。



大垣まつり神輿渡し

日時：平成27年5月10日(日) 場所：新大橋、八幡神社



大垣市青年のつどい協議会副会長 宇野 隆富

第44期 大垣市青年のつどい協議会最初の事業である、大垣まつり神輿渡しが5月10日(日)に八幡神社周辺にて行われました。

特に今年の大垣まつりは、国の重要無形民俗文化財に指定され、「まつりの軸行事」は国連教育科学文化機関(ユネスコ)の無形文化遺産候補に推薦、多くの注目を浴びた2日間で、例年と比べ5万人多い27万人が訪れました。

当会からは今期卒業予定の國枝 幹生会長、松永大介君、名波 一敏君、須田山 智成君の4人を含め、21人の会員が参加してくれました。当日ご参加、ご協力いただきました会員の皆様に感謝申し上げます。

さて、今年も一昨年からの流れ同様に、つどい

協議会加盟10団体の混合で3基の神輿を担ぐ形式で、3人のつどい副会長がそれぞれの神輿を担当しました。

私は國枝会長と共に、八幡神輿(俗にいう大神輿)を担当しました。新大橋にて神事を行った後、13の軸に続いて、多くの市民が注目する中を八幡神社まで神輿を担ぎました。我々、竹の子会もその活性化の一翼を担えたものと自負しております。

最後にこれから60期にかけて、つどい協議会の事業が続きます。つどい出向者としての私の役割は、内に向けてはつどいの事業を通して、会員相互の親睦や結束を強める事であり、外に向けては当会の魅力を発信することと考えております。

今後も皆さんからのご指導、ご協力をいただきながら、一つ一つの事業に取り組んでいきたいと考えております。どうぞ宜しくお願いします。



6 7 月の予定

卒業生を送る会

日時 平成27年6月20日(土)
場所 大垣フォーラムホテル

市長杯

日時 平成27年7月10日(金)
場所 コロナキャットボウル大垣店

総会懇親会

日時 平成27年7月22日(水)
場所 大垣フォーラムホテル

昌原JC受入事業

日時 平成27年7月22日(水)
~7月23日(木)
場所 大垣フォーラムホテル ほか